

令和5年度 シラバス

教 科	商 業	科 目	ソフトウェア活用	学 年	第2学年	学 科 類 型	商業科
単位数	3 単位	教科書	ソフトウェア活用(実教出版)				
副教材	全商情報処理検定模擬問題集 1 級ビジネス情報、1 級プログラミング (東京法令出版)						

学習目標	1 ビジネスに関する情報を、表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得します。 2 ソフトウェアを利用した情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなど積極的に推進する創造的な能力と態度を育みます。
------	--

キャリア教育の視点	情報技術の進歩や情報が社会に及ぼす影響、情報に対する個人と企業の責任、個人情報と知的財産の適切な取扱いと保護について理解しながら、ビジネス社会におけるネットワーク構築、ネットワークのセキュリティの必要性について考える力を養っていきます。また、企業でのシステム開発に携わる姿勢も養っていきます。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4 月	第 1 章 企業活動とソフトウェアの活用	現代ビジネスの実例を通して、それらのビジネスにおける I C T 活用の基礎的な知識を学習します。 ネットワークの構築についての基礎的な知識から、構築に必要なネットワークの設定方法、サーバ管理やセキュリティ管理などについて学習します。	中間審査
	5 月			
	6 月	第 2 章 情報通信ネットワークの活用		期末審査
	7 月			
2 学 期	8 月	第 3 章 表計算ソフトの活用	表計算ソフトウェアを活用し、様々な場面で収集された情報の主計や分析方法を理解し、ビジネス活動に活用できる知識と技術について学習します。 身近なテーマをもとに、データベースソフトウェアを活用して、データベースの検索機能やデータベースを操作するための S Q L 言語について学びます。	中間審査
	9 月			
	10 月	第 4 章 データベースソフトウェアの活用		期末審査
	11 月			
	12 月			
3 学 期	1 月	第 5 章 業務処理用ソフトウェアの活用	情報の効率的な管理とビジネスへの活用を目的に開発された様々な業務用ソフトウェアにより、情報管理における I C T 活用の実際を学習します。 自らの業務の課題をとらえ、適切な情報システムの開発ができる方法について学習します。	学年末審査
	2 月	第 6 章 情報システムの開発		
	3 月			

学習の方法	コンピュータを使用した実習を中心にして、ビジネス社会における情報処理やビジネス文書作成のスキルを身に付けていきます。また、座学においてはコンピュータの基本的な知識やセキュリティ管理についての用語や方法について小テストを行うなどして理解を深めていきます。また、検定取得にも積極的に取り組み、上位級取得に向けて学習していきます。
-------	---

評価の仕方	知識・技術は、定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、小テスト、授業態度、課題や提出物などを総合的に評価します。 思考・判断・表現は、習得した知識や技術を既存の知識や技術と関連付けたり、他の学習や生活の場面で活用したりすることができているか評価します。 主体的に学習に取り組む態度は、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながらよりよく学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。
-------	--

備考	
----	--